

もっと茨大農を知りたい人へ、＜公開講座＞をご用意しました。

地域をひらく新しい農学

ー地域総合農学入門ー

2017年8月22, 23日 10時20分～14時10分(計4コマ)

茨城大学農学部キャンパスにて ◎受講無料◎

(授業内容は裏面をご覧ください)

※受講希望者は事前にお申し込みください。

農学部学務係 TEL:029-888-8522

地方の未来を創造していくためには、**農業科学の視点から地域との共生を図っていくことが重要**だというコンセプトのもと、「地域総合農学科」が2017年度より茨城大学農学部到新設されました。この公開講座では、複数の分野の融合による新しい農学の姿として提案された**地域総合農学の入門編**として、**農業科学の現在と未来**、ならびに**農学と地域との共生に向けた期待と課題**について、平易な言葉で解説します。

【8/22午前】**水田が守る、地域の未来**(担当: 牧山)

コメを主食とするわが国では、水田はあらゆる文化の一部に位置づけられてきました。近年、水田の面積は激減していますが、その一方で、水田は地域の生活や環境を守る重要な役割を担っています。そのことについて具体例を挙げながら解説し、水田農業の未来について展望します。

【8/23午前】**豊かな日本の食卓、でも世界は？**(新田)

日本の食卓は、多様な食べ物であふれ、とても豊かです。しかし、世界はどうでしょう？ 国連によるといまでも7億9,500万人の人々が栄養不足の状態にあります(2015年)。1990年に比べて2億人以上が減少しましたが、まだ、世界で「約9人に1人が飢餓」状態です。どうすればよいのか、われわれにできることはないのか？ この授業では作物の栽培的な視点からお話します。

【8/22午後】**安全な農作物の生産と害虫管理**(北嶋)

高品質の農作物を生産するには、害虫の防除が不可欠です。その一方で、害虫防除のための農薬使用は、食の安全に対する不安を消費者に与えます。農薬は本当に危険なのか？ また、農薬無しで農作物は作れるのか？ 最新の防除技術を紹介しながら、高品質で安全な農作物の生産について考えます。

【8/23午後】**水資源からみた地域の未来**(黒田)

日本ではコメが主食の座にあります。コメを作るには多くの水資源が必要となります。農学部のある県南地域の多くは水田への灌漑用水を霞ヶ浦に依存しています。そこで、霞ヶ浦の水質と農業の関係について、さらに霞ヶ浦の水質保全を通じた地域の未来について展望します。